

捜 索
差 押 許 可 状 請 求 書
(検 証)

令和2年3月24日

さいたま簡易 裁 判 所
裁 判 官 殿

埼玉県朝霞警察署

司法警察員 警部

〇 〇 〇 〇 印

下記被疑者に対する 覚醒剤取締法違反 被疑事件につき, 捜索差押 許可状の発付を
請求する。

記

1 被疑者の氏名



2 差し押さえるべき物

別紙のとおり

3 捜索し又は検証すべき場所, 身体若しくは物

別紙のとおり

4 7日を超える有効期間を必要とするときは, その期間及び事由

5 刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは, 差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって, その電磁的記録を複写すべきものの範囲

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは, その旨及び事由

被疑者の立会を得て, 執行したいが, 被疑者の行動が判然としていないため, その執行が夜間に及ぶおそれがあるため

7 犯罪事実の要旨

別紙のとおり

別 紙

2 差し押さえるべき物

本件に関係ある

覚醒剤，覚醒剤原料，覚醒剤分包用具類，注射器，覚醒剤計量器具類，覚醒剤使用器具類，覚醒剤取引メモ類，住所録，電話番号控帳，携帯電話機

3 捜索し又は検証すべき場所，身体若しくは物

[REDACTED]

7 犯罪事実の要旨

被疑者は，みだりに，令和2年3月20日ころ，[REDACTED]
[REDACTED]所在の自宅洋服タンス内において，覚醒剤であるフェニルメチルアミノプロパンの塩類を含有する白色結晶状粉末約5グラムを所持したものである。